

平成29年度 学校経営方針

1、学校教育目標

・自主性・自律性・国際性

(自ら考え、主体的に判断し行動できる力、他人を思いやる心や感動する心、国際社会に貢献する志を培う)

2、ドバイ日本人学校の求める像

【めざす児童生徒像】……『自他の良さを認め、互いにつながり合いながら、世界に羽ばたこうとする児童生徒』

- ・かしこい子……授業を大切にし、学びを深めることによって自分のよさや友のよさを認め、高め合う子
- ・やさしい子……友とのつながりを大切にし、友を思いやる気持ちにあふれている子
- ・たくましい子……自ら心身を鍛えるとともに、みんなと協力し、周囲をよりよい状態に変えようとする子
- ・国際人をめざす子……世界に羽ばたき、地球全体の幸福を考えようとする子

【めざす学校像】

- ・ドバイ及びUAE北部地域に滞在する日本国籍を有する子女に対し、UAEの文化、国情等を理解し将来を通じて友好の実を上げるとともに、帰国後ただちに日本の教育制度を継承して受けることができる学校
- ・「学校をつくるということは、わたしたちの手で煉瓦を積み、わたしたちの手で一枚一枚の板に釘を打ち付けていくことなのです。私たちのかわいい子どものために……。」という建学当時の人々の思いを脈々と受け継ぐ学校
- ・人と人とのつながり合いを大切にする雰囲気の中で、子どもも教職員もひとつになり、知・徳・体のバランスのとれた成長を目指して一生懸命努力し、その過程にある価値や成果を認め合い高め合える学校

【めざす教師像】

- ・教員としての使命を自覚し、全力で職務を遂行していく教師
- ・学校を支える一員として同僚性、チーム力を発揮し、教育課題を追究していく教師
- ・常に子どもの成長を考え、子どものために指導を工夫し、成長する喜びを分かち合える教師
- ・個を理解し、保護者や子どもの立場を考えて親身に対応することができる教師

3、教育方針

授業を教育活動の基本に据え、ドバイ日本人学校や海外校としての特性を活かした創意工

夫あふれる教育活動を展開することにより、保護者・日本人会・現地社会の信頼に応える安全で安心して学べる学校づくりを推進する。

4、平成29年度の重点目標

(1) 安全・安心で保護者や日本人会から信頼される教育活動を推進し、具体的で客観的な評価活動によって教育の質の向上を図る。

(2) 「授業」は学校の命であることを認識し、「分かる授業」「楽しい授業」を実現するために日々の授業改善を図る。

(3) 朝読書の時間やボランティアによる読み聞かせ活動等により、読書教育を充実させる。

(4) 全教育活動を通して、子どもたちが「つながり合い、かかわり合い、みがき合う」場を設定する。

(5) 児童生徒理解に努め、「あいさつ・じかん・くつならべ」を奨励し、基本的生活習慣の定着、健康教育の充実を図る。

(6) イスラム文化圏にある特色を生かし、交流活動や現地理解を通して国際理解の推進を図る。

5、学校教育活動の充実に向けて

(1) 学校教育の中心は何といっても子どもたちの学力の向上が第一と考える。そのため教員自らが研究授業を中心に全教員で研修及び共有する場を設定し授業力の向上を目指す。

(2) 毎年実施をしている各種調査の結果では全学年とも全国平均を上回っており、家庭教育力を土台に読み聞かせボランティアによる読書の習慣化、「朝トレ」での基礎学力の定着、日々の授業などが影響し合っている。基本的な生活習慣確立のため「あいさつ・じかん・くつならべ」を奨励しながら、確かな学力の向上のため日々の授業のより一層の充実に努めていく。

(3) イマージョン教育について、平成26年度よりG1～G4まで音楽科と図工科（G4は音楽科のみ）では英語を使用した学習形態をとってきた。平成27年度はこのイマージョン教育をG6までの小学部全体に拡大してきた。それによって日常英会話に触れる機会を増やし、英会話力の向上に向けた取り組みを進めてきた。今年度もイマージョン教育の充実を図る。

(4) 英会話については、週2時間基礎、中級、上級の3グループで実施していく。

(5) アラビア語は、平成27年度まで週1時間習熟度別2グループ編成で実施してきたが、今年度も週1.5時間に増加して児童生徒のアラビア語に対する会話力やイスラム文化についても理解を深めさせる。

(6) 英会話E x t r a, については年3回の実施とする。

アラビア語E x t r a については年3回の実施とする。